

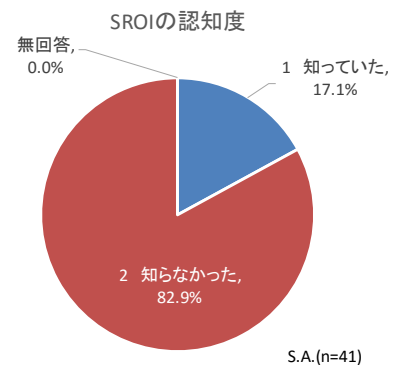
SROI 講習会アンケート結果

当委員会では、平成 29 年 9 月に実施した大阪講習会での SROI（社会的投資収益率）研究の中間報告について、参加者の理解度や業務への活用可能性などについてアンケート調査を実施しました。以下にその概要を示します。

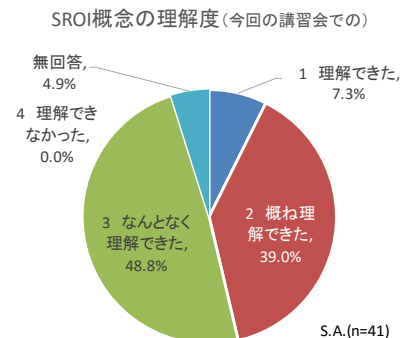
＜アンケート集計結果の概要＞

アンケート回答者数：41 名（講習会参加者 50 名）

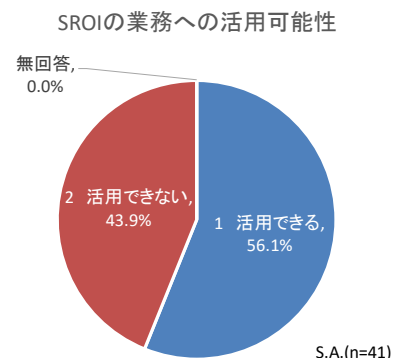
設問1	SROI について、以前からご存知でしたか。
回答者のうち、約 8 割が「知らなかった」という回答であり、SROI の認知度は高くない。	



設問2	本日の講習会によって、SROI の概念について理解できましたか。
SROI の概念を「概ね理解できた」という回答が約 4 割で、「なんとなく理解できた」を含めると、ほとんどの人が SROI をある程度理解したといえる。	



設問3	SROI はあなたが関わる業務に活用可能とお考えでしょうか。
講習会を聞いて、全体の半数を上回る人が SROI を業務に「活用できる」と感じたことがわかる。	



【具体的な活用場面（主な意見）】

- ・ まちづくり、防災まちづくり、観光まちづくりなどの事業評価
- ・ 地域振興に関する評価指標
- ・ 道路整備効果や交通安全事業の促進
- ・ 合意形成等の場合だけでなく事業の間接効果、波及効果など広い範囲で適用可能と感じる。ただし、この手法が社会的にどこまで認められるか。普及も含めて課題

設問2×設問3	SROIの理解度と業務への活用可能性(クロス集計)
「理解できた」、「概ね理解できた」など、SROI の理解度が高くなると、「活用可能性」を感じる割合も増える。	

